

岐阜高専吹奏楽部 第50回定期演奏会および関連イベントのご紹介

吹奏楽部OB・OG会「Bb会」

会長 河村 光康 (C10)

監査 坂井 善幸 (E03)

岐阜高専電気情報工学科同窓会「電苑」会員の皆様へ

早いもので学校の創立50周年を迎えて5年目となりますが、皆様如何お過ごしでしょうか？

さて、来る2017年3月には50期生が卒業を迎え、同窓会組織である「若鮎会」も発足50年となります。それに伴い「若鮎会」では同窓会の発足50周年記念事業の一環として、2017年9月9日に記念式典と記念祝賀会を計画されておりますが、それに先立ち吹奏楽部並びにそのOB・OG会「Bb会」では下記のイベントを予定しておりますのでご紹介致します。

1. 岐阜高専吹奏楽部 第50回定期演奏会

日 時 平成29年1月22日(日) 13:30 開演

場 所 羽島市文化センター 「スカイホール」

入場料 無料

今年度の演奏会では50回を記念して、第3部は現役とOB・OGの合同演奏ステージです。従来より5年ごとにOB・OGを交えて合同演奏をしておりますが、総勢80名近い大編成の迫力満点の演奏になるものと思います。ぜひご来聴いただきますようお願い申し上げます。

2. 岐阜高専吹奏楽部 OB・OG会「Bb会」祝賀会(第50回定期演奏会記念)

日 時 平成29年1月22日(日) 17:30(定期演奏会終了後)

場 所 羽島市文化センター 4階レセプションルーム

岐阜県羽島市竹鼻町丸の内6丁目7 (TEL 058-393-2231)

対象者 Bb会員

Bb会員の皆様には10月中旬に案内状を送付済ですが、一部の方の住所把握ができておらず案内状をお送りすることができません。Bb会員の方でまだ案内状を未確認の方がおみえでしたら下記の関係者までご連絡いただければ幸いです。

総会及び祝賀会に関する詳細のご案内をさせていただきます。

また、これを機にBb会へ入会をご希望される方も歓迎いたしますので、お問い合わせください。

| | | | |
|---------|------|-------------|--|
| 問い合わせ先： | Bb会長 | 河村 光康 (C10) | dreaming37@nifty.com |
| | 事務局長 | 渡邊 浩 (A02) | watanabe@totii.co.jp |
| | 監査 | 坂井 善幸 (E03) | ysakai@ylw.mmtr.or.jp |
| | 幹事 | 伊藤 和男 (M15) | pochi.k@gmail.com |
| | | 小栗 勝仁 (C20) | yukinko_1121@yahoo.co.jp |

3. 吹奏楽部の定期演奏会の歴史並びに「B b 会」のご紹介

吹奏楽部以外でもOB・OG会を設け現役への支援や卒業生相互の交流を図っておられることと思いますが、折角の機会を頂きましたので創設時の部活動やB b 会について紹介させていただきます。

[坂井 (E 0 3) 記]

<定期演奏会の歴史>

第1回の定期演奏会が開催されたのは昭和43年1月28日(日)でした。会場は岐阜市民会館の大ホールです。岐阜市民会館は昭和42年に新築されたばかりの岐阜で唯一のコンサートホールでした。そして岐阜高専吹奏楽部は創部4年目で30名編成の小さな吹奏楽部でした。

ある日の練習で、今井部長(E01)から「演奏会を岐阜市民会館で開催する」と聞かされた時にはとても驚きました。演奏会としては創部3年目(私が2年生)から合宿兼演奏旅行として下呂市や高山市で経験しておりましたが、本格的なコンサートホールで演奏するのは初めてです。果たしてどんな演奏会になるのか不安と楽しみが交錯していたのを覚えています。

演奏会を開催することになった背景は、「岐阜高専第1回卒業生を送る会」として企画されたと聞いております。そして、その趣旨に従って第1回卒業生の皆様をご招待致しました。

第1回のプログラムを見ると、飯沼校長先生のご挨拶の中に面白い一節が書かれています。

「本校開設の翌年に文部省から吹奏楽予算がつけられた頃には、バンド経験者はほんの2、3名にすぎず、果たしてバンド編成が成り立つかどうか全く不安なものでした。当時の練習風景は、ピーピー、ギャーギャーとまるで殺人的な騒音と狂燥ぶりで、教官から練習排除の要求が出たりしました・・・」と。

そして当日の演奏曲目を見ると、よくもこんなに沢山の曲を演奏したものだと思えます。

なんと第4ステージまでありました。さらに工学色を出そうということで、電気1期生の有志がSCRを使った調光装置を製作し、ステージの音量に反応して色調を変化させて表示していました。調光装置の回路図が掲載されているプログラムは世界中でも他に例がないと思えます。

The collage consists of four overlapping pages from a concert program. The top-left page is the cover, featuring a colorful abstract design and the title "演奏会" (Concert). The top-right page is the "I stage" program, listing pieces like "The Shiny Shakes" and "The Shiny Shakes". The bottom-left page is the "II stage" program, listing pieces like "The Shiny Shakes" and "The Shiny Shakes". The bottom-right page is the "III stage" program, listing pieces like "The Shiny Shakes" and "The Shiny Shakes". The rightmost page is the "IV stage" program, listing pieces like "The Shiny Shakes" and "The Shiny Shakes", and includes a technical diagram of a light control circuit using a SCR.

<創設時の活動について>

私たちが入部した頃は固定の練習場所はなく、階段式の合併教室、機械工場を経て、体育館が完成してからはステージ上でした。バスケットボールやバレーボールの攻撃を受けながらの練習は懐かしい限りです。それに比べると現在は専用の部室があり、狭いながらもその中で合奏が出来るのは素晴らしいことです。そしてステージドリルもマスターし、コンクールにも大学の部として毎年出場できるバンドに成長して、定期演奏会も50回を迎えることができ、歴代のメンバー諸氏の努力と学校側の温かいご支援に感謝する次第です。

現在はどうか判りませんが、当時は楽器の練習の他にもう一つ苦しい練習がありました。それは水曜と土曜の運動の時間です。学生全体の人数が少なかったため、運動系のクラブと吹奏楽部を両立させたい学生もいた為、「吹奏楽部は運動もできる」とアピールし、部員を確保することと体力づくりが狙いだったと推測します。楽器練習が終わった後、グラウンドでのうさぎ跳びやインターバル、藪川までのランニングなど実にユニークでした。現在の演奏レベルは当時より遥かに高く感じますので、きっと音楽一筋に徹していることと思います。

他にはステージ用の制服を買う資金稼ぎのため、日曜日に全員で行った土木工事のアルバイト、演奏旅行の準備のためにヒッチハイクで高山や下呂と岐阜を往復したことなど実に楽しい思い出です。

<B♭会の設立と運用>

第1回の定期演奏会が開催され1期生が巣立った翌年からも定期演奏会は引き続き開催することができ、その都度卒業生も演奏会場に集って、自然にOB・OG会の結成に至りました。

名前の由来は主な楽器のクラリネット、トランペットなどのドの音程がB♭であることから「B♭会」に決まりました。創設時に練習場所が定まらなかったことから、「専用の練習場または合宿所を建てよう」と大いなる夢を抱き、年会費を集めることにリスタートしました。

そして今は亡き大野武久氏（M02）が名古屋大学修士課程を卒業後、1975年に岐阜高専に着任され吹奏楽部の顧問となられたのを契機に「B♭会」と現役との絆も強くなり、今日まで至っております。5年に一度の現役との合同演奏ステージには、毎回多くのOB・OGが参加し楽しく演奏をしております。会員は276名で、5期ごとに幹事を設け相互の連絡維持を図っております。

このたび第50回演奏会を迎えるにあたり、創設期のメンバーから最新の49期生まで幅広い世代のOB・OGが一堂に会し、50回定期演奏会の開催を祝うとともに、100回の演奏会に向けての結束を固めていきたいと考えています。49期生は50年後にはまだ71歳ですので、「B♭会」の継続と現役世代への支援活動を託すことが出来るものと思います。

それでは皆様、1月22日には是非とも羽島文化センターへ足をお運びいただき、吹奏楽部の演奏会を楽しんで頂くとともに、吹奏楽部OB・OG諸氏との久しぶりの再会を満喫して頂ければ幸いです。ご家族そろってのご来場を心よりお待ちしております。

以上